

株式会社メディア工房 (Media Kobo, Inc.)

平成29年8月期
中間決算説明会

総括

■ 増収要因 ■

- LEWIS FACTORYの黒字化
- LINEトーク占い、
IPコラボアプリの増収増益

■ 減益要因 ■

- OBOKAID'EMの減価償却費増 & 減損損失の計上
- AI, HVRへの先行投資（主にAI人件費）
- 社内インフラ整備のコスト増

上半期財政狀況

連結貸借対照表 資産の部

(百万円)	第19期	第20期 2Q	増減額	増減率
流動資産	2,306	2,481	175	7.6
有形固定資産	280	25	▲254	▲91.0
無形固定資産	322	412	89	27.7
投資その他の資産	351	319	▲31	▲9.1
固定資産合計	954	756	▲197	▲20.7
資産合計	3,260	3,238	▲22	▲0.7

連結貸借対照表 負債・純資産の部

(百万円)	第19期	第20期 2Q	増減額	増減率
流動負債	868	850	▲18	▲2.1
固定負債	596	483	▲112	▲18.9
負債合計	1,464	1,333	▲131	▲9.0
純資産合計	1,796	1,905	109	6.1
負債純資産合計	3,260	3,238	▲22	▲0.7

特記事項

■有形固定資産の減少■

＞建物の売却による254百万円の減少

■自己資本増 安定的な無借金経営

＞現金預金2,039 百万円：借入金1,074 百万円

＞自己資本比率 **58.0%**（前期末：53.8 %）

■流動比率200%超 高い支払い能力

＞流動比率 **291.9 %**（前期末：265.5 %）

上半期経営成績

連結損益計算書

(百万円)	第19期 2Q 累計	第20期 2Q 累計	増減額	増減率
売上	1,009	1,127	117	11.7
売上総利益	515	468	▲46	▲9.1
営業利益	41	3	▲37	▲91.8
経常利益	14	0	▲14	▲98.2
特別利益	—	103	103	—
特別損失	—	5	5	—
税引前当期純利益	14	98	83	567.3
当期純利益	▲22	61	84	—

特記事項

■ 売上原価の増加 ■

- ＞ 前期リリースのOBOKAID'EMゲーム
2タイトルを減損（合計10百万円）（※）
6タイトルを減価償却中
- ＞ 前期末から2タイトルの増加
- ＞ 事業譲受による子会社人員増に伴う人件費の増加

■ 特別利益の発生 ■

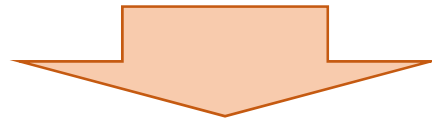
- ＞ 建物・会員権等の売却による利益69百万円

（※）・前期1Qリリース～当期1Q末まで（→減損対象）
・前期2Qリリース～当期2Q末まで（→減損対象）

セグメント別状況

(百万円)

第19期 2Q累計	占い コンテンツ	ゲーム コンテンツ	その他	調整額	合計
売上	957	41	10	—	1,009
営業利益	331	▲55	▲33	▲201	41



(百万円)

第20期 2Q累計	占い コンテンツ	ゲーム コンテンツ	その他	調整額	合計
売上	870	255	1	—	1,127
営業利益	271	▲50	▲15	▲201	3

占いコンテンツ

新たな取り組み における増収

- LINEトーク占いの好調
- 電話占いにおいても売上増

➡ 担当事業部において
約40%の増収と黒字化達成！

- 非占いコンテンツの提供

➡ 他社IPとのコラボレーション
各キャリア向けコンテンツの強化



(株)サンリオウェブ様
(株)パークグラフィックス様との協業



Animoca Brands
Corporation Limited様との協業



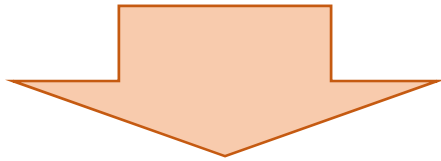
タブリュジーバブリシング(株)様
との協業

(※)以下コンテンツ提供先
KDDI様提供サービス「auスマパス」
docomo様提供サービス「docomoスゴ得」
Softbank様提供サービス「Softbank Apppass」

占いコンテンツ

既存占いコンテンツの不調 回復まであと一歩

- 従量課金モデルへの偏重傾向
- 既存コンテンツにおける
会員数の減少



既存占いコンテンツの
減収減益

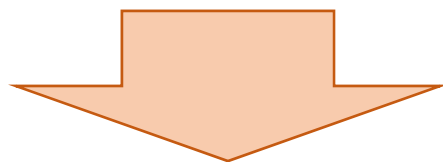
収益形態の
多様化と分散

ゲームコンテンツ

大幅な増収

- LEWIS FACTORY 12月以降
黒字化

＞ 事業譲受後第1弾の
運営移管タイトルが健闘



ゲームコンテンツ事業
売上高 **516.0%増**
今後もセカンダリーゲームに注力
新規開発タイトル 年1本リリース予定



2016年12月1日運営開始した「イグドラシル戦記」

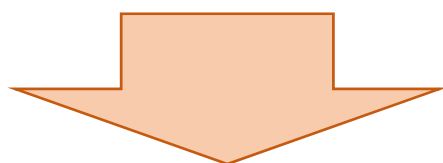


既存運営タイトルも引き続きユーザーの好評を頂いています！

ゲームコンテンツ

OBOKAID'EMの売上不調 最終利益はマイナスに

- 前期タイトルの減損
 - 新規リリースによる減価償却費増加
- ＞ 共にOBOKにおける費用



LWSで増収増益になるも
OBOK名義タイトルの不振により
黒字化に及ばず

**安定収益基盤
の強化**

第20期 下半期の展望

6本の柱

広告収入を含む収益モデルの多軸化による
占いコンテンツモバイル部門NO,1

電話占い
「One to One」を「One to N」へ

ビッグデータを基にした
found it project AI事業の推進

大型IPとのコラボアプリ配信強化

セカンダリー/新規IP活用タイトル/
海外ゲームパブリッシングの強化

HVR事業の推進

占いコンテンツ モバイル部門 1 位を目指して

課金型だけの
収益モデルの分散
広告収入を強化



- 無料本格鑑定・無料コンテンツ増
＞ 当社の強みである本格的な占いが無料
- プロモーション事業部の設置
＞ 各事業部を横断的に分析・解析し、
プロモーションを全社的に強化

来期 中華圏を中心に 東南アジア各国へ展開

現在 台湾・香港にコンテンツを配信中！
2017年2月には中国事業部を設立し、
現地調査・営業を強化

電話占い

「One to One」を「One to N」へ

電話占いと占いコンテンツの連携

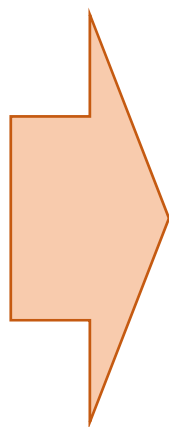
成功サービスにおける
ナレッジを各種サービスへ



- **圧倒的優位**にあるLINEトーク占いにおけるノウハウを既存占いコンテンツ事業へ活用

ビッグデータを基にした found it project AI事業の推進

人を救うAIへの挑戦
自然言語処理×機械学習で
未来を作る



- AIを活用した占いデータの情報処理と分析
 - > 提携先の模索
 - > 人材確保の課題
 - > 当社主催のAI勉強会を毎月開催
 - > 認知度の向上

大型IPとのコラボアプリ 配信強化

各キャリアへの 配信数の増加

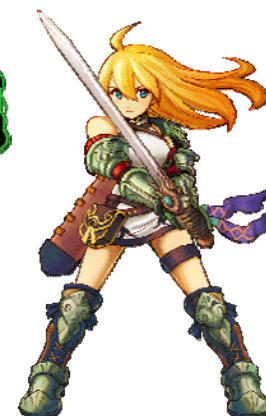


Zen Studios Ltd.様との協業

- 現在各キャリアに合計16本の
コラボアプリを配信中
 - > 今期中さらに2本が配信確定！
 - > 今後は海外企業とのIPコラボも強化

ゲームコンテンツ 子会社ゲーム事業の強化

各ゲーム事業の 特色を生かす



- セカンダリーによる安定収益（LWS）
- 新規IP活用タイトル（LWS）
＞ OBOKAID'EMで培った世界展開ノウハウを活用
- 海外ゲームパブリッシングの強化（BQ）

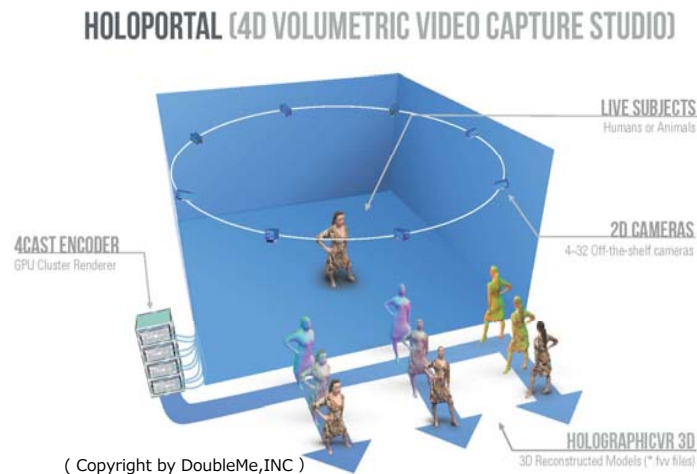
- セカンドリー2本
- 新規IP活用タイトル1本
(今夏リリース予定)

最先端技術への投資 HVR事業の推進

先行投資
最先端技術をもつ
企業との協業

DoubleMe
Holographic Mixed Reality Experiences!

同社は昨年Spring/Summer 2017 collectionにその技術を提供し、大きな話題を呼びました。



- 米国法人 DoubleMeとの資本・業務提携
＞ 同社の**最先端技術**を使った
協業案件の実現に向けて現在協議中

**今期中 事業の大枠完成
技術の進化と共に発展し
来期以降には成果**

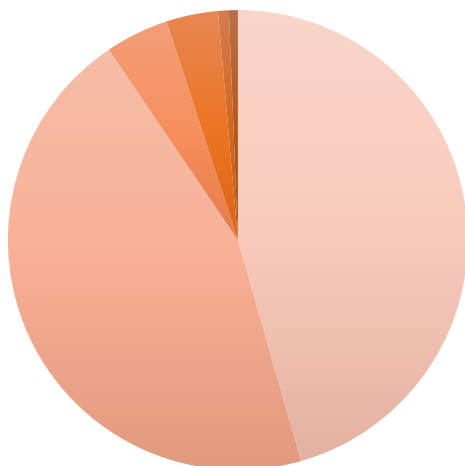
(ご参考) 会社概要

本社	東京都港区赤坂四丁目2番6号 住友不動産新赤坂ビル12階
設立	1997年10月
資本金	451百万円
従業員数	連結 116 名（平成28年8月末 時点）
平均年齢	32.9 歳（平成28年8月末 時点）
子会社	株式会社ブルークエスト 株式会社ルイスファクトリー 株式会社ギフトカムジャパン
上場市場	東証マザーズ（3815）
事業内容	コンテンツ制作・配信事業・各種メディア事業 他



株主構成（平成29年2月末日時点）

● 株主状況



- 個人その他（45.6%）
- 自己株式（4.5%）
- 外国人（0.8%）
- その他国内法人（45.0%）
- 証券会社（3.6%）
- 金融機関（0.6%）

総株主数	4,360人
1単元以上の株式を所有する株主数	4,304人

※平成28年8月期末の総株主数は4,688人

● 株式の状況

上場株式数	11,300,000株
自己株式数の合計	504,876株
役員の所有株式数合計	1,960,300株
流通株式数	3,975,824株
流通株式数比率	35.2%

● 大株主の状況

株主名	所有持株数 (株)	所有株式数の 割合
エヌカルテット	4,859,000	43.00%
長沢一男	1,901,100	16.82%
ニフティ	200,000	1.77%
長沢敦子	188,000	1.66%
松井証券	94,900	0.84%

※自己株式 504,876株（4.47%）を控除した上位5名を記載しております。

資料に関する注意事項

- 本資料は、当社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料に全面的に依拠した投資等の判断は差し控え願います。
- 本資料は、正確性を期すために慎重に作成しておりますが、安全性を保証するものではありません。本資料中の予測や情報によって生じた損害等については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本資料に記載された意見や予測等の情報は、本資料作成時点の当社の判断によるものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変更等の様々な要因により、実際の業績及び記載されている将来の見通しとは乖離が生じることがありますのでご了承ください。

【本資料及び当社に関するお問い合わせ先】

株式会社 メディア工房
管理部 経営企画チーム
TEL 03 - 5549 - 1804
FAX 03 - 3586 - 4480
<http://www.mkb.ne.jp>